

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 7 月 1 日
事業所名	グループホームあさひ名東
ユニット名	1階
事業所番号	2371501038
記入者名	職名 管理者 氏名 吉田 俊夫
連絡先電話番号	052-704-5438

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>普通の生活習慣を継続できる援助。自然体の生活。利用してよかったと思われるホーム独自の理念があります。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>来客者、職員の目に付きやすい事業所の廊下に掲示しており、月1回の全体会議で再認識している</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		<p>パンフレットとホームページに記載、運営会議を通して色々な行事に参加して頂いています。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>毎日の散歩時 挨拶の励行をしている、子供110番を設置しています</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>地域行事の参加（餅つき、みこし、秋の運動会）、敬老会には近隣の子供会で毎年踊りを披露してもらい地元の方々と交流をしています</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を通じ行っている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	月一回の全体会議での発表と年2回本社で他のホームとの情報交換会を実施しています		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回は運営推進会議を実施して自治会、お医者様から適切なアドバイスをお聞きしサービス向上に努めています		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームでの敬老会行事を 名東区介護保険課にあ案内し参加を依頼している。ホームの見学の案内をした。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支	全体会議で説明された。必要かどうかについては管理者が動いている。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努め	月一回の全体会議時に勉強会を実施された。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書の内容をひとつひとつ説明し理解を確認している。納得していただいた上で 記名捺印する事を確認している。</p>	<p>納得 理解の確認を 契約書捺印記名以外の文書でできる事が必要と思う。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者とのコミュニケーション時に会話の内容から察する。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会の際 利用者の健康状態 日頃の生活などを報告している、ホーム便り、スナップ写真も掲載しております</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情、意見箱を設置しています、面会時に意見の出やすい配慮を心がけています</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一回の全体会議とスタッフ同士のコミュニケーションと連絡ノートにより意見や提案を話し合っている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>事故が特に多いとされてる食事の時間を中心に半日勤務で多く配置している。勤務表参照。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者様との馴染みの関係を維持のために極力職員の異動はさけています</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進め</p>	<p>業務管理表で新人の進捗状況を把握し新人自身も管理者もできるようにしている、確認している。 又、スキルUPの為に別途休日と費用の一部負担を行っています</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会を通して施設外研修を取入れています、ヘルパースクールより生徒さんを受け入れています</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>コミュニケーションによりストレス軽減を図って居る、ホーム犬を飼っていて心が和みます、年2回は懇親会を企画しています</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の勤務状況を把握し、各自の能力にあった勉強会、研修参加を促している、又救命講習等の参加機会も設けています</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>コミュニケーションにより 初期の不安などを除く事を心掛けている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>当ホームを利用する事にこだわらず 家族が抱えている不安や問題を聞き取り できる限りのアドバイスなどを行っている。また症状についての説明も 不安解決のために必要と考え実践している。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ケアプランに取り入れる。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得しに上りサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>「お試し入居」を設けています。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>コミュニケーションにより 信頼関係を築くことを大切にしています</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時 家族の思いをしっかりと聞き本人にとって何が一番いいのかを相談していく。</p>	
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>ホームの行事に参加していただくよう案内している</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>居室で使っているものは本人が今まで使っていたものがほとんど。</p>	
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>皆さんと一緒にできるレクレーションを用いる。もしできない方には必ずスタッフが横に着いて一緒にやる。。</p>	
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退去後 担当ケアマネに様子を教えていただく。ホームの行事を案内した。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	日常の会話内で本人の希望、意向の把握に努めている	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	会話によつての把握。	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	様子観察しカルテと連絡ノートに記入し申し送りでの情報共有をしている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成</p>	月一回全体会議での話し合い。利用者様別に担当スタッフを決め情報を収集しています	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	カンファレンスにより 各担当者からの報告によって話し合い 新たな計画を作っています、急変時にはケアプランの変更しています	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別カルテ 連絡ノートで情報を共有化をしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院、送迎の支援をしています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近所の方が手遊び、踊りなどのボランティアで訪問して頂いている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今までその必要性があった事例はないので今後必要に応じて実施する		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	実績なし		今後 権利擁護の意味合いから 必要が出てくる可能性もある。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者様別にかかりつけの病院もあり、ホームドクターには月一回往診にも来て頂いている。</p>	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力病院の院長が自ら 認知症施設を運営している事から 介護と言う要素から指示を受ける事が多い。以前 精神化単価病院に受診していた。</p>	<p>今後は 協力病院とのバランスを考慮しなければいけないと言う問題を解決した上で 専門機関との関わりを持てるようにしたい。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護師が1名常勤している</p>	
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>実績はないが、退院後には病院との連携を取ります。</p>	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>管理者より報告がありそれに沿ったケアを実践している。</p>	
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を</p>	<p>現在のレベルより身体介護水準が重度化しないようにケアを考え実践している。看護師が医療機関との連携を取り 介護現場でできる事は指示を出している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>ホームを出る場合には サマリーで、できる限りの情報を相手側に提供している。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>個人情報他 他利用者に分らない事を守っている。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>利用者との会話で得た情報を外出計画で実行していません</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>利用者様優先に考えています</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>行きつけの美容院に行かれます。季節にあった衣類を用意している。また。外出時希望があれば付き添いしています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	簡単に野菜を切って頂いたり処理をして頂いたりしている。食事時には音楽を流しています	
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	希望のある利用者様にはお酒類を出しています。また、お茶の時間も利用者の要望に答えています。	
56	<p>気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	排泄を訴えない人には 時間を決めて 排泄を促したり オムツなど排泄用具を交換する。	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	浴槽に浸かっている時間は 健康に支障が無い範囲で希望に任せている。ホームにはリフト浴があり重度の方でも安心して入浴いただいています	
58	<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	レク 作業の時間はあるが 他の時間は利用者が自由に過ごしている。	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	週一回の外出 また本人の希望があればショッピングなど外出している、年に2回の旅行は楽しんでいただきました	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	各自が 自分でお金を持って使っている。但し 家族に話し 自己責任であることを納得していただいている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・講演等外出を実施しています		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	コミュニケーションによる会話を管理者に報告して支援している。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ステーション内の電話を自由に使ってもらっている。手紙 はがきの投函も代行している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会者との時間を大切にしている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	何が拘束になるかを学び実践している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	居室に鍵は付けられていないが 施設の出入り口は、ホーム犬が外に逃げ出さないために鍵を掛けていることもある。	
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	様子観察。また 1日のほとんど居室で過ごされる身体重度の利用者様の居室に頻回に訪室する事が決められている。	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	利用者様の状態にあわせ説明をし、利用者様によって危険と判断すれば回収し保管させていただく事もある。	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	月一回の全体会議での説明。話し合いによって取り組んでいる。リスクマネジメントの研修に参加し事故防止に取り組んでいる	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	全体会議で 随時説明される。普通救命講習受講しました	
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	全体会議で 訓練をした。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	現在の状況から考えられるリスクや ケアの方法から考えられるリスクだけでなくそれを回避する手段とそのデメリットを説明しどうするかはなしあっている。家族と本人が承諾した方法を実践している。またそれのみを実践することになっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申し送り 看護師への報告。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全員が目的や副作用について理解は出来ていない新しく処方された薬については症状の変化について看護師から説明がある。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	最終排便日の記録で管理している。毎日の散歩で運動		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自立している方には声をかけ半介助している。自分でできない方は全介助で毎食後ケアしている。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態を全職員が把握し量などを調整。水分摂取は食事以外もカルテに記録し・管理している食事以外でも摂取して頂いています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の 取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肝 炎、M R S A、ノロウイルス 等)	全体会議で説明があり看護師より指示が出る。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活 の場としての台所、調理用具等 の衛生管理を行い、新鮮で安全 な食材の使用と管理に努めてい る	保健所からの情報収集に努めている、食材は週2回の 買出しと鮮度の配慮すべきものは都度購入を心がけて いる		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関ま わりの工夫 利用者や家族、近隣の人等に とって親しみやすく、安心して 出入りができるように、玄関や 建物周囲の工夫をしている	玄関に常に季節の花を飾っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、店 間、台所、食堂、浴室、トイレ 等)は、利用者にとって不快な 音や光がないように配慮し、生 活感や季節感を採り入れて、居 心地よく過ごせるような工夫を している	季節の花。日差しが強い日はレースのカーテンをす る。		
82	共用空間における一人ひとりの 居場所づくり 共用空間の中には、独りにな れたり、気の合った利用者同士 で思い思いに過ごせるような居 場所の工夫をしている	ソファが置いてありくつろがれたり、仲良く話をさ れたり、洗濯物をたたまれ(微笑ましい)光景をよく 見かける		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている		
罵			
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)